

令和6年度 桜城地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和6年7月12日(金)

No	懇談事項	説 明	担当部課名
1	「災害時、地域住民の安全を確保することができように、地域で今できることを考えよう」について ・ 自主防災組織の防災訓練の実施について 桜城地区は東側が北上川、西側は雫石川に囲まれた地域である。大雨で川の水が増水となっても、四十四田ダム、御所ダムなどの治水施設の整備や放流調整で洪水の氾濫を防ぐ効果が上がっており、最近は洪水の被害は発生していません。洪水被害の減少は喜ばしいことですが、それが防災意識の低下につながることは問題です。更に地域に住んでいる世代も交代し実際に洪水の被害を経験していない世代が増えると、洪水の危険性を認識しにくくなり、油断につながります。そこで、この地域の過去の洪水被害記録や教訓を風化させないよう、懇談等によりこの地域の過去の災害について、市から情報を提供してもらい、防災訓練に生かすなど、過去の災害を知ることで防災意識を高める取組を図っていきたい。 (盛岡駅前北通町内会)	桜城地区は、地区内で三つの河川が合流する立地状況にあり、桜城地区では、明治・大正には、大きな災害として、水害が4件、火災が1件、確認されております。 特に、明治43年9月の洪水被害は、記録が残る中では、盛岡市で最も大きな被害とされており、死者1名、住家2,896戸の被害が発生しております。 また、昭和に入ってから、昭和22年9月のカスリン台風により住家4,702戸に被害が発生したほか、昭和23年9月のアイオン台風により住家498戸に被害が発生しております。 以降は、北上川や雫石川のダム整備や河川改修等により、大きな洪水の発生は抑えられておりますが、小規模な浸水等は何度か発生しており、日頃から水害への備えが必要な状況となっております。 また、桜城地区では、風害・地震・火事・火山などの災害も想定されますので、水害のみならず様々な災害への対策を行っていただきますようお願いいたします。 なお、市では、地区ごとの災害リスクに応じた防災計画を地域の皆様が作成し、地域の防災力・災害対応力の向上につなげる「地区防災計画づくり」を推進しておりますの	総務部 危機管理防災課

令和6年度 桜城地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和6年7月12日(金)

No	懇談事項	説 明	担当部課名
		で、桜城地区におきましても、是非、計画づくりへの取組をお願いいたします。 (参考) 桜城地区付近での主な水害 ●は令和2年度防災アセスメント調査で 過去の大きな災害とされているもの。 ○寛文10年(1630年) 夕顔瀬橋等流出 ○明治30年9月9日(台風) 北上川出水 流失: 開運橋の水切5本 ●明治43年9月洪水 開運橋付近冠水 ●大正9年8月4日 北上川・中津川・雫石川・築川が増水、 仁王赤川氾濫 死者: 1名 流失: 夕顔瀬橋際派出所 欠損: 秀清閣裏の石垣 浸水: 木伏・新山小路・長町・仁王方面、 新築地一帯家屋 ●大正10年4月3日 各河川が氾濫 欠損: 茅町佐々木某の裏手の石垣、山岸うらの堤防 流失: 沢田橋一部 浸水: 木伏・多賀・神子田方面・川原町 ●大正11年7月30日 各河川が増水・氾濫 落橋: 四ツ谷橋、沢田橋	

令和6年度 桜城地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和6年7月12日(金)

No	懇談事項	説 明	担当部課名
	・町内会・自治会の防災活動体制と支援について 市の要請により、各町内会・自治会は「自主防災要領」を定め、「自主防災隊」を組織しています。しかし、盛岡市内の空洞化等により、町内会組織の弱体化が顕著なことから、活動実態がなくなっている町内会も多く見られます。こうした状況を改善するために、今後、自主防災隊の活動体制をどのように作っていったらよいのか、市からの情報提供等の支援をいただき、災害時に備えた地域の自主防災隊の地域住民への支援が機能する組織を検討していきたい。 (三戸町町内会)	浸水：560戸（下小路・四ツ家・仁王・三戸町・長町・大沢川原・新穀町・仙北町・青物町一部） 氾濫：下小路・四ツ家・三戸町・上田組町、厨川・三ツ家 ○昭和22年9月 カスリン台風 ○昭和23年9月 アイオン台風 (参考) 桜城地区付近での主な大規模火災 ●明治24年5月 長町より出火 焼損：26戸 自主防災組織は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識の下、災害等の被害防止や軽減、予防を目的として結成された組織であり、これらの災害への対処のみならず、地域における防災意識の高揚を図る上で非常に重要であるものと認識しております。 桜城地区は、東西が河川に囲まれており、水害を始めとした大規模な自然災害が発生した場合の被害が予想されるところです。 全国的に見ましても、高齢化や地域の人口減少などにより、活動の中心となるリーダーの担い手不足や、訓練へ	

令和6年度 桜城地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和6年7月12日(金)

No	懇談事項	説 明	担当部課名
		の参加者不足などの課題を抱える自主防災組織が少なからず存在しておりますが、それぞれの地域で工夫した活動や訓練を行うことにより、高い防災意識を持ち、活発に活動を行っている組織も多く見られます。 当市では、自主防災組織結成後の組織運営や活動について、自主防災推進員が相談に応じており、今後、地域の実情に応じた組織活動ができますよう、また、災害発生の際に十分な防災活動が行われるよう、指導や助言を行っておりますので、御相談いただければと存じます。	